

めぐみイエス・キリスト教会

2023年6月18日(日)第三主日礼拝

午前10時より

週報「通算第662号」



2023年標題聖句

第 I ヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌337「愛する主よわが君よ」p. 676

【交読文】 No.31 詩篇第100篇 p. 904

【賛美Ⅱ】 新聖歌233「驚くばかりの」 p. 668

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「ビジョン」

【聖書朗読】 使徒の働き27章13節～26節(新約p. 292)

【礼拝説教】 《「良い港」から船出して》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1.「ユーラクロン」とは？

■ユーラクロン 東風を意味するギリシャ語のユーロスと北風を意味するラテン語のアクイロとが合わさってできた言葉で、クレタ島の海拔二千メートルを越す山々から吹き降ろす東北東の突風のこと。

●ポイント2.「カウダ」と「シルティス」とは？

■カウダ 地中海のクレテ島の南西方向にある小島。ローマに護送されるパウロが乗った船は、ユーラクロンの暴風を避ける

ため、一時その島陰に停泊した。

■**シルティス** シシリー島に対するアフリカ北岸にある大きな入江。カルタゴのあるチュニス岬とクレネのあるバルカ岬とにはさまれており、東部は大シルティス(今のシデラ湾)、西部は小シルティス(今のガベス湾)と呼ばれた。両岬間の距離は約420キロで、湾内の水深はあまりなく、西部では潮流も自然ではなかった。加えて海岸は、重量物を吸い込む浮砂で、流れ動いており、そこに上陸することはほとんど不可能であった。ローマに護送されるパウロが乗り合せた船の水夫たちも、その入江の危険性をよく承知していた。

●**ポイント3.「パウロの預言」と「パウロの確信」とは？**

※**使徒の働き27章10節「パウロの預言から」** (新約p.292)

27:10「皆さん。私の見るところでは、この航海は積荷や船体だけでなく、私たちのいのちにも危害と大きな損失をもたらすでしょう」と言った。

※**ローマ人への手紙8章28節「パウロの確信から」** (新約p.310)

8:28 神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。

◎先週の礼拝メッセージ【ローマを目指して】

《パウロのローマへの旅が始まります。「私たち」とは、医者であり福音記者ルカ、マルコとテサロニケ教会の指導者アリスタルコです。

そして、護送に任命されたのは親衛隊のユリウスです。彼は、カイサリアに常駐するイタリア隊の百人隊長の一人でした。同僚に、シモン・ペテロによって救いに導かれた、百人隊長コルネリウスがいます。

さて船は、バルナバとマルコの故郷であるキプロスの島陰を航行し、そしてキリキア州とパンフィリアの沖を通って、リキア州の港ミラに入港しました。ここで一行は、イタリアへ行くアレクサンドリアの船に乗り換えます。アレクサンドリアの商業船は当時最大の船で、通常は、イタリア半島ナポリ湾北岸の町ポテオリに直航しますが、時折悪天候の時には、小アジアの沿岸近くを航行したのです。

さて、アレクサンドリアの船はミラを出航し、クレテ島の南岸ラサヤの町に近い「良い港」に着きます。ここは、夏季の投錨地としては最適な場所で、船は、かなりの期間停泊することになります。毎年9月から10月にかけて守られる断食の日もすでに過ぎており、航海の危険な時期が近づいていました。パウロは、自身の経験から警告します。「皆さん。私の見るところでは、この航海は積荷や船体だけでなく、私たちの命にも危害と大きな損失をもたらすでしょう。」と。

しかし百人隊長は、パウロの言うことよりも、船長や船主のほうを信用したのです。もし、彼らが、パウロの言葉に耳を傾けていたとしたら、事態は全く異なっていたはずです。

ここから、私たちが学ぶべきことが二つあります。一つは、待つことです。留まることです。そして、もう一つは、神様の言葉に聞き従うことです。もし彼らが「良い港」に留まっていたとしたら、船も何もかも失わないですんだのです。先の港であるフェニクスまでは、距離にして約70kmほどでした。しかし、彼らにとっては、遙かに遠かったのです。》

◎お知らせ

※次回礼拝は、6月25日(日)午前10時からです。